

心遣いに感謝いたします Vol.8

11月22日(月)。早朝から、冷たい雨が降っています。明日以降は、一気に冷え込み、最低気温が一桁になるそうです。厚手のコートや手袋、マフラーが活躍する季節になりました。秋の衣替えに続いての冬の衣替えをしなくてはなりません。また、衣服だけでなく、家の中でもエアコンやストーブ、こたつなどの暖房器具が必要になってきました。生活全般で冬の支度をはじめの頃になりました。

また、初冬(師走・年末・年の瀬)を感じさせるものとして、ニュースやネットでの話題として、紅白歌合戦出場者や今年の流行語大賞が取りあげられる頃になりました。気持ちは、早、クリスマス。しかし、学期のまとめはしっかりと…

さて、冬の花と言えば、パンジー、ビオラ、葉牡丹、シロタエギクなど、あげればきりがありません。花と言えば春。そんなイメージがありますが、冬の花は、可愛く、彩り豊かで、且つ、凛としていて、個人的に、大好きです。

校長室に生けられた、桃色の花は、スプレ一菊。左下に枝ものはヤブサンザシ。ヤブサンザシは、長持ちしていて、まだ赤い実が付いています。そして、背の高い枝ものは、彼岸桜です。一枝でも絵になる姿をしており、生け花によく用いられます。たくさんの蕾を持っているので、今日から、開花がとても楽しみです。毎日、期待して観察します。

→



←

児童下足室前の廊下の隅に生けられた、後ろの枝ものは、校長室と同じく彼岸桜です。見事な枝ぶりです。現生なら本来3月中旬に咲く、早咲き品種です。花は、ソメイヨシノよりひとまわり小さいです。中央の2輪は、大輪の薔薇です。アプリコット色で、とても優しい雰囲気を出しています。

右の2枚の写真は、職員玄関に生けられたミニ胡蝶蘭とドングリの木です。ミニ胡蝶蘭は、『ミディ』タイプと呼ばれます。秋に、年を越して咲きました。蕾もたくさん持っています。育て方が上手な用務員さんのお陰です。どんぐりの木には、コナラ、クヌギ、マテバシなど、多種あります。この木は、何かな？

→



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくりは人づくり。感謝申し上げます。